

Dolby®

DP569 ドルビーデジタルエンコーダ



ドルビーDP569は、ドルビーデジタルマルチチャンネルオーディオのレファレンスエンコーダです。56kbpsから640kbpsのエンコードビットレート、モノから5.1チャンネルサラウンドまでのチャンネル構成をサポートします。DP569は、自動化された放送設備やDVDなどのパッケージメディアのマスタリングを含む、デジタルテレビ、ケーブルテレビ、ディスクオーサリングなどのアプリケーションを対象としています。

DP569は、3対のAES3デジタルオーディオ入力と、1対のAES3出力を備えています。また、他に独立のAES3入力があり、基準クロック信号、または複数のドルビーデジタル信号を含むマルチプレックスされたAES3ビットストリームの入力に使用できます。DP569のビットストリーム検出機能をオンにしておくと、すでにエンコードされたドルビーデジタルオーディオビットストリームは自動的にパススルーされます。ドルビーサラウンドの入力信号にかけられたマトリックスエンコードもそのまま通されます。

LTCとVITCをサポートしたEBU/SMPTEタイムコード入力を使用すれば、ディスクオーサリングで個々のプログラム部分やサウンドトラックファイルを作成する際にエンコーダを正確にスタート・ストップさせることが可能です。放送アプリケーションでも、タイムコードをトリガーに使用して自動的にエンコーダの設定を変更することにより、プログラムの切り換わりがスムーズになります。一部のシステムでは、A/V同期に必要なタイムスタンプもDP569で取り出せるようになっています。

ドルビーデジタルについて

ドルビーデジタルは、聴覚マスキング効果とチャンネル内及びチャンネル間両方の冗長性を利用して高音質デジタルオーディオの効率的な保存と伝送を実現する、知覚型オーディオ符号化アルゴリズムです。

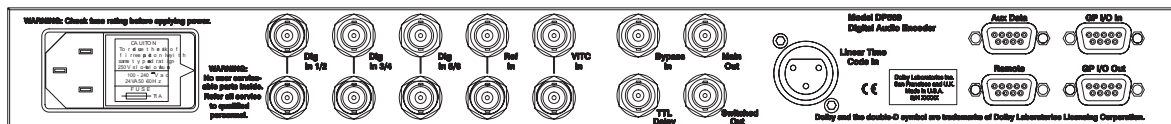
ドルビーデジタルでは、民生用サラウンドサウンドフォーマットである5.1チャンネル/384~448kbpsやステレオプログラム用の2チャンネル/192kbpsなど、チャンネル数とビットレートの組み合わせを、個々のアプリケーションに応じて適宜決められるようになっています。また、民生用ドルビーデジタルデコーダはマルチチャンネルビットストリームをモノ、ス

ステータス信号とコントロール信号を含む汎用の入出力信号のために、2つのコネクタが設けられています。実際にシステム障害が発生した場合、及びその危険性がある場合には、障害監視回路がそれを知らせます。また、バイパス接続を利用することによって放送用設備でのホットスタンバイモードを実現できます。

DP569のフロントパネルには、各種ステータスパラメータを表示する英数字液晶ディスプレイと、チャンネルの動作状態を示す3色LEDが並んでいます。また、フロントパネルディスプレイ、設定パラメータ、デフォルト及びプリセットモードなどの設定用に、プッシュボタンなどの各種コントロール類が設けられています。さらに、フロントパネルとリアパネルにはシリアルインターフェースが装備されており、同梱のアプリケーションソフトウェアを使用することにより、Windows 95/NTを搭載したPCやその他のリモート機器からDP569の構成変更や制御を行うことが可能です。

ドルビーデジタルソースのデコード処理については、ドルビーデジタルマルチチャンネルレファレンスデコーダのドルビーDP562が、DP569との組み合わせという面で理想的です。DP562は5.1チャンネルのドルビーデジタルのデコード処理に加え、4チャンネルドルビーサラウンドプロロジックのデコード処理もサポートしています。また、マルチチャンネル機能が必要ないアプリケーション向けに、2チャンネルドルビーデジタルエンコーダユニット、ドルビーDP567もご用意しています。

テレオ、またはドルビーサラウンドにダウンミックスして再生することが可能であり、幅広いリスニング条件において完全な互換性を実現しています。マルチチャンネル符号化システムとして考案されたドルビーデジタルは、1992年に映画音響用としてデビューしました。それ以来、優れた音質と帯域利用効率、柔軟性の高さなどの理由から、レーザーディスク、DVDでのマルチチャンネルオーディオの国際規格、ATSCデジタル放送テレビとSCTEデジタルケーブルテレビのオーディオ規格などに採用されてきました。また、DVBを始めとする衛星放送システムでも利用が拡大しています。



仕様

オーディオ符号化アルゴリズム	ドルビーデジタル
オーディオサンプリングレート	32、44.1、または48kサンプル/秒 ユーザー選択可能なサンプリングレート変換機能により、入力時とエンコード後のサンプリングレートを独立に設定可能
周波数特性	下限は20Hz以下から、上限はデータレート、サンプリングレート、チャンネルモードで決まる値までの範囲で、±0.25dB
歪率	1kHzで0.01%以下 20Hz～アルゴリズムの上限で0.02%以下
ダイナミックレンジ	110dB以上
符号化ディレイ	動作モードによって変化 最低179msから最大450msユーザー指定または外部TTLパルス（外部ディレイ入力）による自動設定が可能
デジタルオーディオ入力	デジタル入力(1/2、3/4、5/6)及び基準入力:BNCメス(ループスルー)、不平衡、信号レベルはAES-3ID-1995/SMPTE 276M準拠、75Ω終端(ターミネータ)が必要バイパス入力:BNCメス、不平衡、信号レベルはAES-3ID-1995/SMPTE 276M準拠
デジタルオーディオ出力	エンコーダ出力(メイン及び切り換え):BNCメス、不平衡、75Ω、信号レベルはAES-3ID-1995/SMPTE 276M準拠
タイムコード入力	LTC In:3ピンXLRメス、平衡、10kΩ
VITC In	BNCメス(ループスルー)、不平衡、75Ω
シリアルリモートコントロール入力	前面:RS-232、ミニDIN 8ピンメス 背面:D-SUB 9ピンメスSMPTE207M互換(RS-485)プロトコル:SMPTE RP113(ESbus)のサブセット
補助データ入力	RS-485、D-SUB 9ピンメス
外部ディレイ入力	BNCメス、0～5V TTLレベル
汎用入出力	D-SUB 9ピンメス)、0～5V TTLレベル
テストトーン発振器	1kHz(公称)トーン、デジタルフルスケールに対し、-18dB、-20dB、または-∞dB(デジタルゼロ)
フロントパネルのコントロールおよび表示部	コントロールキー付きの、16文字×2行の液晶ディスプレイ各種LEDステータスインジケータ
電源仕様	90～264VAC、50～60Hz、自動切り換え 最大15W
サイズ	44mm×483mm×324mm(1.75"×19"×12.75") 本体重量:4.8kg(10.5ポンド)
動作環境	5°～45°C、自然対流による冷却 湿度0～90%(結露無きこと)
保証	1年間無償保証(部品及び工賃)

本製品の仕様は予告無しに変更されることがあります。